



高知東ロータリークラブ 週報

第2594号
11月13日.2024

本日 11月13日(水)12:30 ザクラウンパレス新阪急高知
会員スピーチ
「私の履歴書・リターンズ」
福岡満喜子 会員

次週 11月20日(水)12:30 ザクラウンパレス新阪急高知
ゲストスピーチ
「長期交換派遣学生帰国報告・長期交換受入れ学生来日挨拶」
長期交換留学生 岡田 そら さん
長期交換留学生 ケネディ イシャウッド さん

第2640回 例会報告／令和6年10月23日 天候 晴 ガバナー補佐訪問例会

◇ロータリーソング

「歓迎の歌」

◇来訪ロータリアン

高知第I分区ガバナー補佐

加藤敏仁氏 (高知南RC)

同行者 上原昭彦氏 (高知南RC)

◇会長挨拶



皆さん、こんにちは。
今日は加藤ガバナー補佐、
同行者の上原さんがお越
しくいただきました。お疲
れ様です。後ほどよろし
くお願いします。

ポールハリスがロータリーの大衆を前にして「何をあなたは言いますか」と尋ねられたとき、彼は躊躇なく「それは tolerance・トレランスである」と答えました。トレランスとは寛容ということです。ロータリーは、寛容の精神を最も重んじています。これは、ポールハリスが祖父母と一緒に生活したアメリカ東海岸バーモント州ウォーリングフォードの町は、イギリスから来たピューリタンの人たちがほとんどでしたが、少数であったカトリックやユダヤの人たちとも、仲良く、差別もなく暮らしていた。その中で、ポールハリスは、宗教や人種で差別をしない暮らしを経験します。

ヨーロッパやアメリカは一神教で、他の宗教を排斥する気持ちが強く妥協はしません。イスラエルとガザのハマスの戦いも、根底

にはユダヤ教とイスラム教の戦いがありますので、なかなか決着はつかない。これが一神教の原則です。日本は多神教で、もともとは神道ですが、後から入ってきた仏教も認めて神仏合体として仲良く歩んできました。明治維新のとき、一時期、廃仏毀釈運動が起りましたが、その後は安定しています。

ポールハリスは、日本のように他の宗教を認めるということはないけど、仲良く生活していつてはどうだろうということが、寛容の精神の基だと言っています。

もう一つは、政治的、社会的問題で、特に日本の場合は、戦後、日本国憲法が制定された過程において、アメリカの占領軍の対日占領対策法であり、憲法の制定過程を認めないという考え方と、憲法学者の6割以上が認めている、革命的手段による正当な手続きを踏んだ憲法制定であるという考え方があります。

戦争放棄が定められている第9条に関しては、皆さんご存知のように「九条の会」も作られ尊敬もされている一方で、哲学者・田中美知太郎は、憲法に「平和」と書いているので戦争がないというのであれば、憲法に「台風は来ない」と書けば、台風は来ないのかと皮肉っています。

このように、日本でも憲法一つをとっても政治的、社会的、法律的な相違点がありますが、それぞれ立場の違う人たちがロータリーというクラブで同じテーブルにつき、人々のために役立つことができないかということが、

ポールハリスの考えた「寛容の精神」ではないかと思います。

◇会員増強・退会防止委員会計画より



・会員増強に関するアンケートを本日、皆さんに配布しています。今後の委員会活動の参考にしたいと思っておりますので、ご協力をよろしく

お願いします。

- ・東酔会への出欠締め切りは今月末です。なお、開催時間は都合により19時からとなっていますので、ご了承ください。

◇ロータリー情報委員会より



11月5日、情報委員会の研修会を行います。まず、吉永会員からロータリーのマナーや基本的な考え方について、次に浦田会員からロータリーの

本質的な話をさせていただきます。5年未満の会員は必ず出席をお願いします。もし欠席の場合はアドバイザーが出席し、できていないことがあれば、必ず伝達をしてください。

◇会長報告

- ・本日、18時30分からパスト会長会を行います。出席をお願いします。
- ・10月19日の日経新聞に1面を使ってポリオ根絶に関する広報が掲載されていますので、ご覧ください。

◇幹事報告



- ・本日、レターボックスに2023-2024年度地区概況を入れてあります。
- ・本日例会終了後、クラブ協議会を行います。
- ・10月30日はロータリー休日です。11月6日はガバナー公式訪問例会です。

◇ガバナー補佐訪問

2670地区2024-25年度高知第I分区ガバナー補佐 加藤 敏仁氏 (高知南RC)



皆さん、こんにちは。私は1995年8月に南RCに入会しました。本日は上原昭彦さんと一緒に、当クラブに訪問をさせていただきました。敬愛するパストガバナーの柳澤先生はじめ、前ガバナー補佐を務められた中平さん、大変お世話になりました。ありがとうございます。また、常日頃親しくしていただいている皆さんと、こういう立場でお会いできたことを大変光栄に思っています。

今期、南ロータリーがたまたまガバナー補佐を輩出する順番で、入会歴の古い私に順番が回ってきました。改めて思うのは、ガバナー補佐は走り出すと待たないで、自分で状況を確認しながら進めていかなければならないことがたくさんあります。例えば会員増強、

これが古くて新しい、達成の困難なテーマですが、これをしないと、大切なことができない。そうした中で、ロータリー人口は世界的に減少しています。

我が南RCも、私が入会する4年前の1991年、会員数76名。入会した1995年8月は、会員減少の真っ只中にあり、4名が入会、7名が退会、とうとう70名を割って68名。その後もどんどん会員数は減り、2008年、50周年を迎える頃には50名台の前半になりました。

そこで、私は50周年の記念誌作成を任せられたのを機に、会員増強をテーマとした座談会を開きました。12名のメンバーを選び、堅苦しいものではなく、お酒をのみながらざくばらんに、各自の有する潜在意識をアルコール

ルによって覚醒させる。まさに、柳澤先生が常日頃おっしゃっていた「酒は情けである」という言葉を実践したわけです。会には司会者をおいて「これからのロータリーをどういうふうにするか。50年後の南ロータリーに向けて」をテーマに、言いつばなし、聞きつばなしではなくて、記録に取って周年の記念誌に顔写真と一緒に、ほぼ話し言葉のまま載せました。

その中で、かつて我がクラブが到達したことのない会員数80という数字を出しました。夢のような数字です。当然「そんなに会員を増やしてどうする」という意見もありました。

1905年、ポールハリスがたった4人で発足したロータリーが、またたく間に全米各地を席卷し、第1回国際会議がグラスゴーで開催されます。そして1920年、米山梅吉によって日本にもロータリーの灯がともります。わずか4人で始まったロータリーが、なぜあつという間に広がっていったのか。これは「ロータリーに入ってください」と言ったからではないだろうという予測が立ちます。

1905年は日露戦争が終結し、ロシアから多額の戦利品、補償金をもらいますが戦費の借財があり利息共々消えていきます。多大な投資を行ったにも関わらず、何の利益もなく戦争不況が始まります。こうした時代に、男爵いもの名称の由来となった川田龍吉は、渋沢栄一に乞われて函館に行き、七飯村に男爵いものを根付かせます。

川田龍吉は農業が大好き、かつ研究熱心で50種類ほどのジャガイモの種の中から、北海道の風土に合ったジャガイモ、アイリッシュユコブラーを見つけて、種芋を作り、北海道の農民に勧めますが、誰一人ジャガイモを植えようとしない。そこで龍吉は一計を案じて、一人の農夫を農機具小屋に呼んで「これは大切な物で、盗まれたら大変なことになる。ひと晩中、番をするように」と言います。翌朝、小屋を開けると山のように積まれていたジャガイモは一つ残らず持ち去られていた。数カ月後、七飯村の広大な畑に純白のジャガイモの花が咲く。その後は、皆さんもご存知のように、北海道の農民の飢饉を救い、全国に男爵いものが売られて、農民の生活も豊かになります。

私たちは、あるきっかけでロータリーに入会するだけで、いろんな寄付金を人頭割で引かれていて、世界中の困っている人たちをピンポイントで救っていることにつながります。

話を戻して、私は先ほどの座談会を開いたとき、とにかく明るくやりました。そして、80という数字を見て、ある会員が「これは加藤さん一人では絶対にできない。みんなでやろうよ」と言ってくれました。私はただ旗を振っただけです。しかし、座談会を開いたからと言ってドラマチックには改善しません。どんどん落ち込んで行きましたが、当時の事務局の方が「加藤さんが80やると言ったら、きっと実現しますよ」と、言ってくれたと、回り回って私はあとから聞きました。

日本にはいい言葉があります。「桃栗3年」、R Iもようやくそのことに気がついて、今期3-year Rolling Target / Plan と言っています。そして「柿8年」です。みんなでやろうと言っていた会員が会長になったとき、何と純増17名。次の年も純増10名。60周年の2018年、会員数86名を達成しました。

私は夏見ガバナーから、地区の会員増強・維持・退会防止委員長を委嘱されていますし、R Iからも膨大な資料が届いていますが、中身は「桃栗3年、柿8年」なんです。会員の増強をするという土壌づくり、そして、旗振り役、すると必ず賛同者が現れます。結果はなかなか目には見えませんが、そこで諦めないでいると、チームで会員増強に向かっていくという機運が生まれてきます。

1995年を基準にすると、我が南R Cは183名が退会しています。これは、東クラブさんを除いた第I分区の6クラブの人数に匹敵する数です。大切なことはイメージだけで、会員増強・維持を謳わずに、会員数の動向、推移を定量化を図ってみると、面白いことが分かります。ある年は、増強はほとんどなし、退会13名。こんな年もあります。しかし、会員を増やすことの活動、過程そのものを楽しむと結果は後からついてきます。クラブの中にそういう機運が生まれて来れば、夢に描いたことも現実になります。

南R Cは、親睦を優先して、ニコニコ箱が非常に活発です。毎回、30人から40人のニコニコがあります。去年は、285万円ぐらいの

ニコニコがありました。私もガバナー補佐でありながら、ニコニコの委員もしています。うちのクラブは、みんな字が下手です。それを5人の委員が確認して読みます。ですから、卓話が早く終わると例会もきちんと時間内に

終わります。それを身を以て経験していますので、若干早いかもしれませんが、これで終わりたいと思います。本日は、私が自ら経験したことを皆さんにお話させていただきました。ありがとうございました。

ニコニコ

- 加藤敏仁・上原昭彦 ニコニコへ。
- 佐野博三 加藤ガバナー補佐、上原様、本日はお疲れさまです。
- 中越貴宣 加藤ガバナー補佐、同行の上原様、本日はお越しいただきありがとうございました。
- 西森良文 本日は加藤ガバナー補佐、随行の上原さん、ありがとうございました。
- 前川美智子 加藤ガバナー補佐、上原さん、本日はようこそ高知東RCへありがとうございます。またお迎えの「歓迎の歌」では、大変、失礼しました。10月19日の宿毛RC創立40周年記念式典では、佐野会長、中西さん、大変お世話になりありがとうございました。
- 須賀昌彦 第5回ホテル会、優勝とベストグロ賞をいただきました。同伴していただいた中越貴宣さん、関さん、ありがとうございました。幹事の岡崎さん、お疲れ様でした。

- 岡崎勇樹 加藤ガバナー補佐、本日は高知東RCへようこそおいでくださいました！日頃は米山記念奨学委員会にご参加いただき、また的確なアドバイスをいただき感謝申し上げます。
- 土居祐三 前川さん、何から何までありがとうございました。土佐建機江ノ口コミュニティセンターがきれいになりました。
- 市川哲司 入会記念品ありがとうございました。おかげ様で、人様のお世話をするようになりました。
- 竹村克彦 加藤ガバナー補佐、ようこそ東クラブへ、お役目ご苦労様です。
- 石川 健 会員増強に関するアンケートについて、皆さまのご協力をよろしく願いたします。
- 中平真理子 加藤ガバナー補佐、ご訪問ありがとうございました。1年間よろしく願いたします。
- ザ クラウンパレス新阪急高知 いつもありがとうございます。

ガバナー補佐懇談会



東RC第5回ホテル会

2024年10月20日(日) 於：錦山カントリークラブ



■高知東RC当面の日程

11月17日(日) 野外レクレーション実施予定
11月20日(水) 東酔会開催予定
11月27日(水) 役員会
12月4日(水) 五大奉仕中間発表・年次総会
定例理事会

12月18日(水) 忘年夜間例会
(ザ クラウンパレス)
役員会(例会前)
12月25日(水) 休会(年末年始の休み)

第4回クラブ協議会

2024年10月23日(水) 於：ザ クラウンパレス新阪急高知



● ニコニコ箱 ●

	ニコニコ (テレビニコ含む)
先週まで	341,175円
10月23日	32,600円
今期の累計	373,775円

● 出席率報告 ●

	総数	出席	欠席	メイク アップ	HC出席率	出席率
10月23日	⁻⁶ 54	40	6	2	74.07%	87.50%
10月9日	⁻³ 54	40	0	11	74.07%	100%

- 会長／佐野博三 ●幹事／中越貴宣 ●雑誌会報委員／西山正純・増田伝郎・有田憲一
- 例会日／毎週水曜日12:30PM～1:30PM ●例会場／ザ クラウンパレス新阪急高知 (088)873-1111
- 事務所／高知放送南館8階 〒780-0870 高知市本町3-3-39 直通 (088)824-8660
- ホームページアドレス(PC・携帯共通) <http://www.kochi-east-rc.com>
- メールアドレス 事務局／hcrc@coffee.ocn.ne.jp 広報 I T 委員会／info@kochi-east-rc.com